

特定非営利活動法人国連ウィメン日本協会
2014年度事業報告書

1. 組織の強化

(1) 会員募集

特定非営利活動法人国連ウィメン日本協会（2013年11月、現名称に変更。以下、「日本協会」という）の活動の中心となる正会員および日本協会を支援する賛助会員の募集を全国的に実施した。（アンダーラインは新規入会）

① 正会員団体 17団体（1団体入会）

（公財）アジア女性交流・研究フォーラム NPO 法人一冊の会 （一財）大阪市男女共同参画のまち創生協会 群馬婦友会 国際婦人年連絡会 堺市女性団体協議会 国際ゾンタ
26地区 全国友の会 国連ウィメン日本協会堺 国連ウィメン日本協会さくら 国連
ウィメン日本協会多摩 国連ウィメン日本協会東京 国連ウィメン日本協会よこはま
（公財）横浜市男女共同参画推進協会 イオン1%クラブ （株）高島屋 日本たばこ産
業（株）

② 正会員個人 39名

③ 賛助団体 15団体（2団体入会）

（公財）京都市男女共同参画推進協会 久留米市男女平等推進センター （一社）国際女性教育振興会茨城県支部 越谷ミズの会 （公財）佐賀県女性と生涯学習財団 （公財）せんだい男女共同参画財団 （一社）大学女性協会 にいがた女性会議 日本生活協同組合連合会
浜松市男女共同参画推進協会 （株）グッドバンカー （株）電通 （株）リコー
アムウェイ合同会社 （株）フジテレビジョン

④ 賛助個人 129名（23名入会）

(2) 協力協定団体の活動

国連ウィメン日本協会の名称変更に伴い、「協力協定団体」に呼称を変更し、2014年1～2月にかけて再申請を実施。2014年は全国7つの協力協定団体が活発に活動を展開した。UN Womenの活動を各地に広げるため、重要な役割を担っている。※協力協定団体の活動については、ホームページ、ニューズレターを参照

国連ウィメン日本協会北九州	個人会員268名	団体会員15	
国連ウィメン日本協会大阪	個人会員98名	団体会員7	
国連ウィメン日本協会堺	会員85名		
国連ウィメン日本協会よこはま	正会員/個人122名・団体2		賛助会員6名
国連ウィメン日本協会多摩	正会員42名		
国連ウィメン日本協会東京	正会員/個人334名・団体5		賛助会員3名
国連ウィメン日本協会さくら	個人会員86名	団体会員1	

2. UN Women と、承認協定締結のための連絡調整を実施（継続）

承認協定日本語訳版を完成、締結への準備を進めた。

3. 総会の開催

日時 2月15日 13:00～14:30
会場 女性就業支援センター・第1セミナー室
議題 1. 2013年度事業報告書・活動計算書（案）
2. 監査報告
3. 2014年度事業計画書・活動予算書（案）

4. 2014～2015年度役員を選任（案）

4. 理事会の開催

2月15日、3月3日、5月16日、7月11日、8月29日、10月10日、12月12日
2015年1月9日、2月2日

5. 理事会の充実と強化

理事が活動を主体的に推進するため、国際、事業・広報、ファンドレイジング、協力協定団体・会員サービス、法人業務の各業務を分担し、それぞれ活発な活動を展開した。また、アドバイザー3名を委嘱し協力を要請した。

2014～2015年度役員およびアドバイザー

理事長 有馬真喜子

副理事長 岩田喜美枝（協力協定団体・会員サービス） 三隅佳子（同左） 渡邊皓子（法人業務）

理事 阿部幸子（事業・広報） 大槻明子（協力協定団体・会員サービス） 大町むら子（同左）

渋谷典子（事業・広報） 清水あつ子（ファンドレイジング） 鷺見八重子（事業・広報）

高橋克子（法人業務） 田中由美子（国際） 本田敏江（同左） 三輪敦子（同左）

目黒依子（国際） 吉川真由美（ファンドレイジング）

監事 遠藤みち 酒井興子

アドバイザー 岩城淳子（ファンドレイジング、事業・広報） 矢島千里（事業・広報）

宮坂洋子（法人業務）

理事業務分担チームの活動

・国際チーム

承認協定の締結に向け UN Women との連絡調整、東京NC（国内委員会）グローバル・ミーティング本会議企画・議事進行、UN Women 情報の翻訳等

・事業・広報チーム

ニュースレターのカラー化、ホームページ・トップページの改訂、紹介パンフレットの改訂、東京グローバル・ミーティングの主催レセプションおよびバスツアーの企画実施等

・ファンドレイジングチーム

企業12社訪問、メール等での連絡5社、国連ウィメン日本協会の活動紹介と賛助会員加入の働きかけ（成果：アムウェイ合同会社、フジテレビジョン）、ファンドレイジングへの加入の働きかけ（成果：ブックオフ宅本便、高島屋カタログ寄付、タブロットジャパン寄付、エイボン寄付、富士ゼロックス寄付）等

・協力協定団体・会員サービスチーム

正会員加入への働きかけ（成果：国際ゾンタ26地区）、ネットワーク会議の推進等

・法人業務チーム

規程等の見直し、神奈川県認定申請・認可（2015年7月より国税局から管轄の移動）、東京NCグローバル・ミーティングの開催、理事会・総会準備、会計全般等

6. 協力協定団体ネットワーク会議の開催

日時 2月15日(土) 14:40～15:30
会場 女性就業支援センター・第1セミナー室
内容 承認協定案、構成委員会の呼称変更、協力協定団体規程案について

7. 協力促進活動、および募金活動

(1) 政府等への働きかけ

UN Women への拠出金増額と支援を働きかけた。
外務省総合外交政策局人権人道課長を通じ、外務大臣へ要請
有馬真喜子理事長 他

(2) 募金・寄付活動等

正会員、協力協定団体などによる募金・寄付活動が活発に行われた。また昨年引き続き企業や団体、個人から寄付金があった。

2014年度 UN Women 募金・寄付金総額	4,919,562 円
2014年度 UN Women への拠出金額	3,689,672 円

(2015年6月 UN Women へ送金予定)

8. 2013年度拠出金による支援プロジェクト

4月8日、2013年度 UN Women 拠出金3,652,934円(35,141.26ドル)を UN Women 本部へ送金した。

2013年度拠出金による支援プロジェクト

- ・ベトナム「HIV感染女性の能力構築：自分の権利を知って請求しよう」プロジェクト
1,039,500円(10,000ドル)
- ・女性に対する暴力撤廃信託基金
1,578,934円(15,141.26ドル)
- ・カンボジア「竹製品の品質の向上と流通の改善を通じて女性の経済的エンパワーメントを高める」プロジェクト
1,039,500円(10,000ドル)

9. 国際的な協力・連携活動

- (1) プムジレ・ムランボ=ヌカカ UN Women 事務局長の3月25～28日の来日に伴い、石原宏高外務大臣政務官主催レセプション、および国連ウイメン「開発と女性」議員連盟主催の勉強会に有志が参加した。また、ヌカカ事務局長と面談し意見交換した。
- (2) 第58回国連婦人の地位委員会(CSW)期間中、3月14日に開催された UN Women NC(国内委員会)グローバル・ミーティングに、原ひろ子評議員が参加。東京 NC グローバル・ミーティングの告知も行った。また、3月19日には三輪敦子理事がミツシ・ダス UN Women シニア・パートナーシップ・スペシャリストと二者会談をした。

10. 日本協会主催「東京 NC グローバル・ミーティング」を開催

実行委員会 第1回：5月28日 第2回：7月24日 第3回：9月11日 第4回：10月3日
第5回：10月10日 第6回：10月25日

実行委員 有馬真喜子理事長ほか10名。なお、開催期間中は全理事・アドバイザーの協力を得た。

グローバル・ミーティング

期 間 10月27～29日

会 場 国際文化会館

参加国 オーストリア（2名） オーストラリア（2名） カナダ フィンランド ドイツ（2名）
アイスランド シンガポール イギリス アメリカ合衆国 スイス 日本

UN Women ミツシ・ダス（本部シニア・パートナーシップ・スペシャリスト）

アントニー・ディ・ヨング（本部リソース・モービリティゼイション・ディレクター）

渡瀬真澄（アジア太平洋地域事務所職員）

来賓挨拶 上川陽子 国連ウィメン「開発と女性」議員連盟代表代行

赤澤亮正 内閣府副大臣

議事内容 UN Women と国内委員会の連携及び今後の在り方等について討議を重ねた。また、各委員会
が活動報告を行い、活発な意見交換等でお互いの理解を深めた。2015年度の国内委員会グ
ローバル・ミーティングはノルウェー国内委員会主催によりオスロでの開催が決定した。

レセプション

(1) 27日 中山泰秀外務副大臣主催

会 場：外務省内

参加者：NC ミーティング参加者および日本協会理事

(2) 28日 日本協会主催

会 場：国際文化会館宴会場

参加者：理事、協力協定団体をはじめ日本協会関連の関係者 90名

津軽三味線演奏：山中信人

バスツアー 29日ミーティング終了後、希望者を、東京バスツアー（皇居一周、浅草、お台場コース）
に引率した。参加者23名。

11. 内閣府 シャインウークス公式サイドイベントへの申請「UN Women で知る世界の女性」の開催

第30回市川房枝女性の政治参画基金」助成金事業による、日本語字幕制作 DVD「世界の女性と UN Women」および、今回のために日本語字幕をあらたに制作した DVD 計4本を上映し、世界および日本の女性の現状と課題を視聴者とともに考察した。

日 時 9月9日10:00～12:00

会 場 東京ウィメンズプラザ視聴覚室

後 援 日本国際協力機構

解 説 目黒依子理事

上映 DVD タイトル

『ハイチの女性・女兒に対する暴力：内なる敵』

『平等への道：ジェンダーに配慮した政策と予算』

『手をたずさえて：女性・平和・安全保障』

『女性に対する暴力にNO！ アフリカをひとつに！』

参加者 40名

12. PKO 派遣前研修に講師として理事を派遣

内閣府国際平和協力本部より、日本語字幕付 DVD「手をたずさえて：女性・平和・安全保障」を教材と

するジェンダー研修の要請があり、国際チーム担当理事を派遣した。

- (1) 日 程 2月4日
研修会場 帯広自衛隊駐屯地
タイトル 「現地の活動におけるジェンダーの視点の重要性」
講 師 三輪敦子理事
参加者 500名
- (2) 日 程 8月19日
研修会場 陸上自衛隊神町駐屯地（山形県）
タイトル 「国連PKOとジェンダー（現地の活動におけるジェンダーの視点の重要性）」
講 師 目黒依子理事 補佐 三輪敦子理事
参加者 500名

13. 広報活動

- (1) UN Women 本部、日本協会および協力協定団体の活動を関係者に周知するために、ニューズレター『国連ウィメン日本協会』を制作、発行
6号（1月 4000部）
7号（6月 3500部）
- (2) ホームページ『国連ウィメン日本協会』トップページを改訂した。
また、内容を適時更新した。
- (3) 紹介パンフレットを改訂した。（3000部）
- (4) UN Women 本部からのニュースリリース等を随時翻訳し、ホームページに掲載、その他資料等を随時翻訳した。
- (5) メールマガジンを発行し、情報の発信に努めた。登録者数600件
第3号：1月 第4号：3月 第5号：4月 第6号：5月 第7号：6月
第8号：8月 第9号：11月 第10号：12月
- (6) 日本語字幕付DVDの制作
『女性に対する暴力にNO! アフリカをひとつに!』の日本語字幕付を作成した。
- (7) UN Women および国連ウィメン日本協会を各地で広報
- 1) 有馬真喜子理事長
 - ・国際ソロプチミストアメリカ日本西リジョン研修会
日時：8月19日 会場：岡山コンベンションセンター 参加者：1000名
 - ・国連ウィメン日本協会北九州設立20周年記念大会
日時：7月26日 会場：北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
参加者：600名
 - ・愛知淑徳大学ジェンダー・女性学研究所主催定例セミナー
日時：11月13日 会場：同上 参加者：80名
 - 2) 岩田喜美枝副理事長

- ・グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク主催「明日の経営を考える会」研修会
日時：7月25日 開催地：御殿場 参加者：15名

3) 三隅佳子副理事長

- ・北九州市立男女共同参画センター・ムーブ市民企画事業「ムーブな仲間」主催
「UN Women の活動」
日時：7月13日 会場：北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 参加者400名
- ・「ESDの10年・世界の祭典」推進フォーラム主催「ESDの10年・地球市民会議2014」NPO/NGOセッション
「持続可能な開発とジェンダー教育～UN Women の活動～」
日時：8月22日 会場：国連大学 参加者150名

4) 目黒依子理事

- ・国連ウィメン日本協会よこはま主催セミナー「UN Women(国連ウィメン)と日本の課題」
日時：9月26日 会場：男女共同参画センターあざみ野 参加者：40名

5) 田中由美子理事

- ・世界に羽ばたく学生のためのキャリア形成セミナー「グローバル化時代に求められる開発協力人材とは」
日時：7月12日 会場：東京国際フォーラム 参加者：150名
- ・ジェンダー・タスク・グループ年次会合「タンザニア灌漑稲作プロジェクト」
日時：11月13日 会場：タンザニア・ザンジバル農業研修所 参加者：30名

14. 省庁等との連携

男女共同参画推進連携会議に団体推薦議員として三輪敦子理事が参加。外務省「女性・平和・安全保障に関する行動計画策定に向けた少人数グループ」会合に三輪敦子理事、目黒依子理事が参加した。